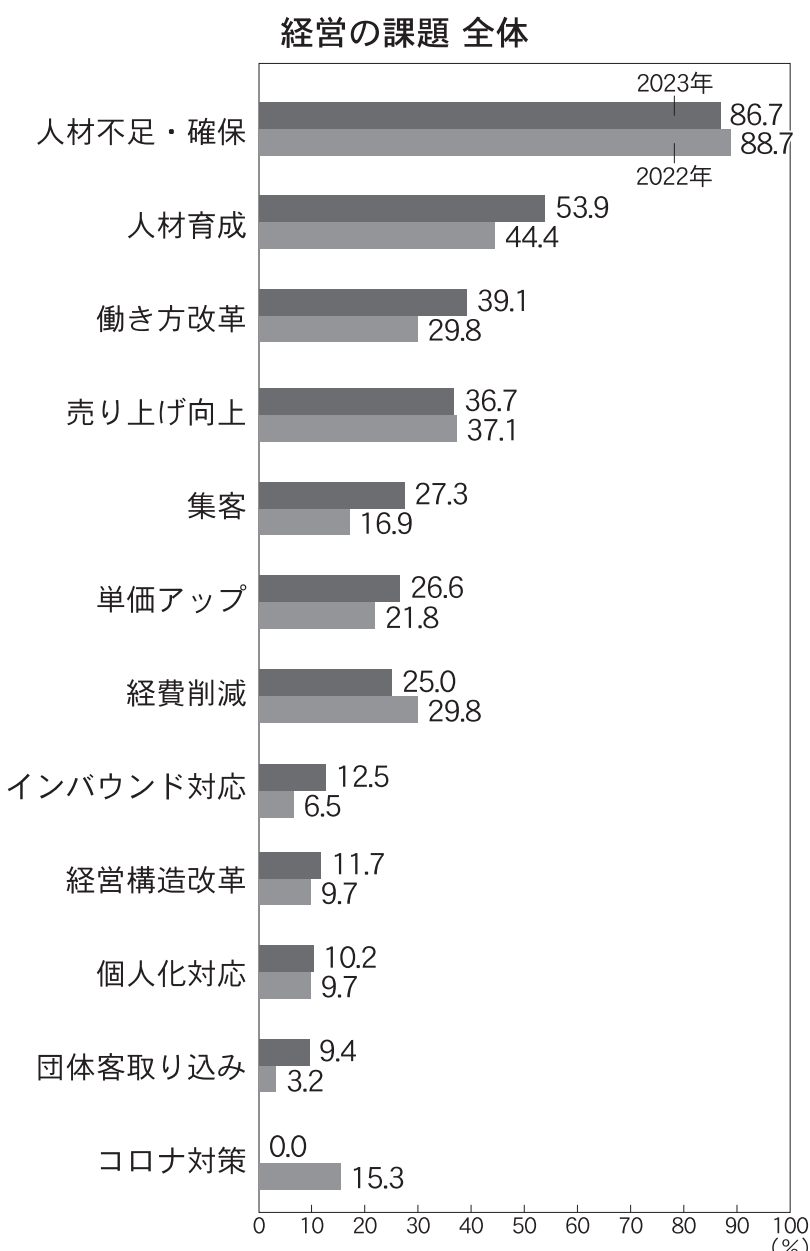
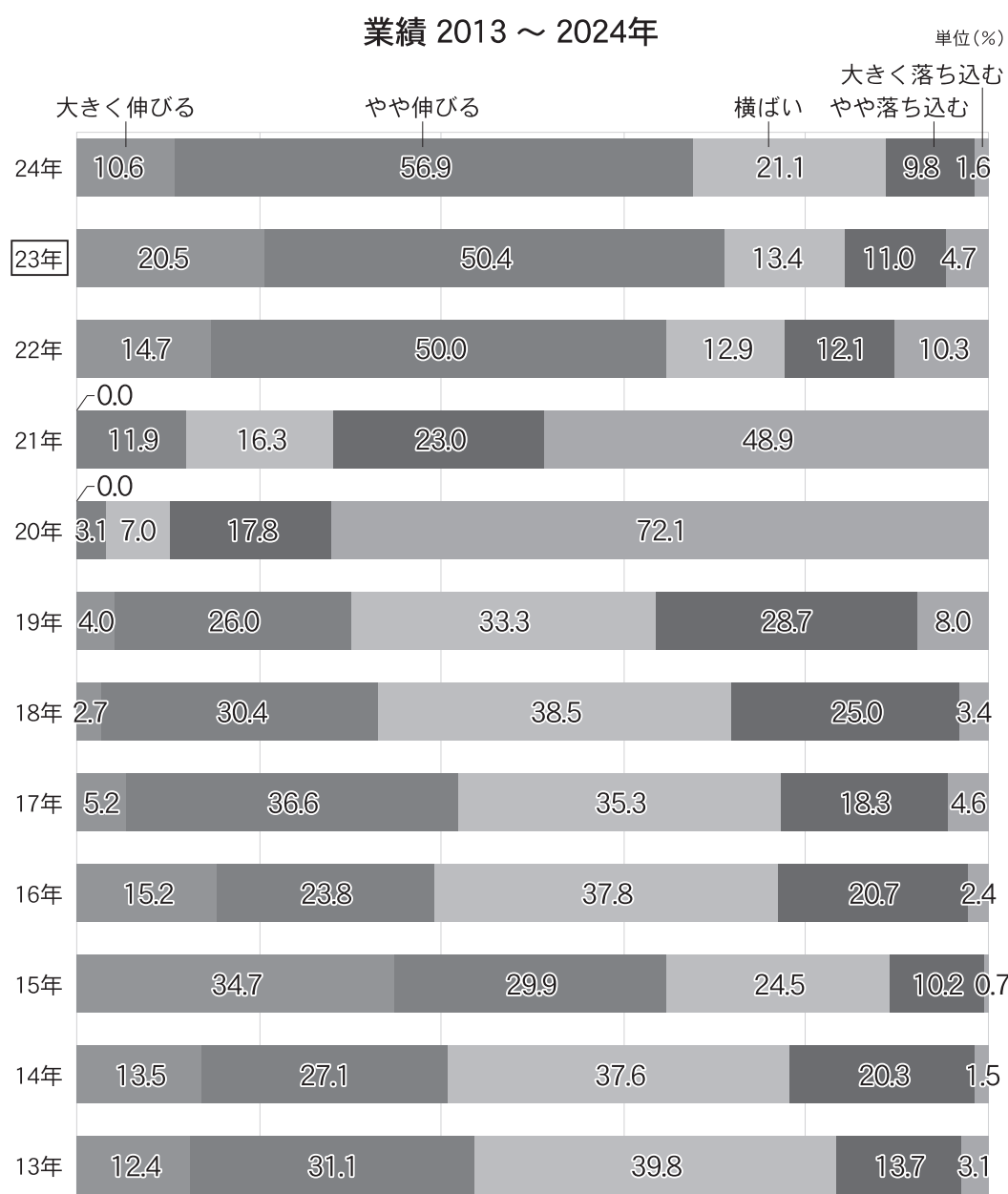


「観光先進国」へ、2024年を始動の年に

業績が「伸びる」70%台まで回復

旅館・ホテル経営アンケート調査



観光経済新聞社は、日本旅館協会会員などの旅館・ホテルに対する経営アンケート調査を実施した。2023年の業績(見込み)について「大きく伸びる」「やや伸びる」「横ばい」「やや落ち込む」「大きく落ち込む」の5段階から選んでもらった結果、伸びる(大きく伸びる+やや伸びる)の回答は70.9%。コロナの影響があった21年は11.9%に過ぎなかったが、22年は64.7%と大きく回復。23年はさらに回復が進み、70%台に達した。

23年の業績が「大きく減る」は11.0%、「大きく伸びる」は前年比5.8%増、「やや落ち込む」は5.6%減増の20.5%と力強さの4.7%となった。を増した。やや伸びる。経営の課題については0.4%増の50.4%。多岐選択法で聞いた(複数回答可)。「横ばい」は0.4%増(前年比)。「大きく落ち込む」は1.4%増、「やや落ち込む」は0.7%増、「人材不足・確保」は1.1%増、「経費削減」は0.7%増、「前年」は0.0%増、「コロナ対策」は15.3%増となった。

観光経済新聞社が実施

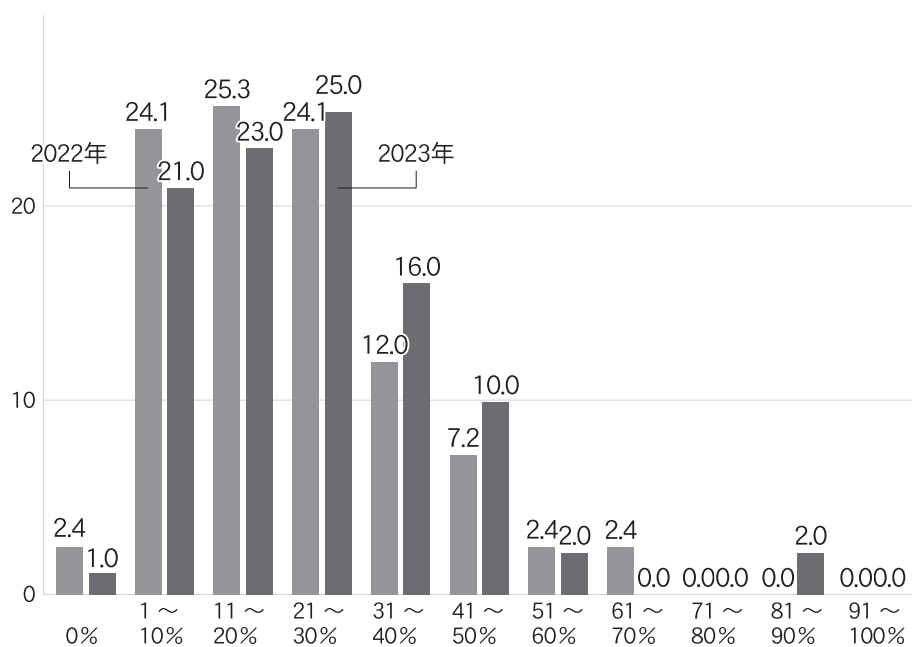
88.7%。2位も昨年と同じで「人材育成」(53.9%)同(44.4%)だった。3位には「働き方改革」(39.1%)同(29.8%)が入り、雇用の問題がトップ3を占めた。自由回答をみると、人材不足・確保への対応としてはDX化の推進や外国人材の活用などが挙げられていた。

4位以下は「売り上げ向上」(36.7%)同(37.1%)、「集客」(27.3%)同(16.9%)、「単価アップ」(26.6%)同(21.8%)、「経費削減」(25.0%)同(29.8%)、「インバウンド対応」(12.5%)同(6.5%)、「経営構造改革」(11.7%)同(9.7%)、「個人化対応」(10.2%)同(9.7%)、「団体客取り込み」(9.4%)同(3.2%)、「コロナ対策」(0.0%)同(15.3%)の順。23年5月の新型コロナウイルス感染症の流行による業績見込み(24年の業0%)が25軒(76.1%)の順。23年5月の新型コロナウイルス感染症の流行による業績見込み(24年の業0%)が25軒(76.1%)の順。23年5月の新型コロナウイルス感染症の流行による業績見込み(24年の業0%)が25軒(76.1%)の順。

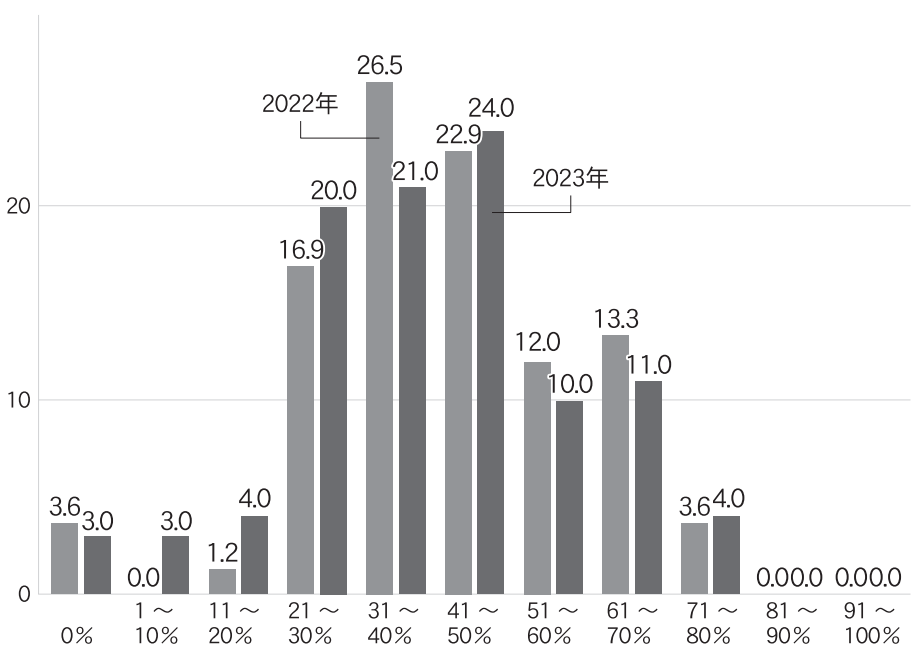
症が5類感染症に移行し、回答が多くなっている。OTA経由は「21.3%」対前年(15.3%)が9%増、「31.4%」が今度も営業を販売する「21.0%」(同26.5%)、「41.5%」が24.0%増、「20.9%」が20.0%増、「11.0%」が11.0%増、「11.0%」が11.0%増、「23.0%」が23.0%増、「28.0%」が28.0%増、「20.0%」が20.0%増、「18.1%」が18.1%増、「10.8%」が10.8%増、「6.0%」が6.0%増、「7.2%」が7.2%増、「6.0%」が6.0%増、「1.2%」が1.2%増、「3.6%」が3.6%増、「3.0%」が3.0%増、「0.0%」が0.0%増、「0.0%」が0.0%増、「0.0%」が0.0%増、「1.0%」が1.0%増。

経営の課題は「人材不足・確保」がダントツ

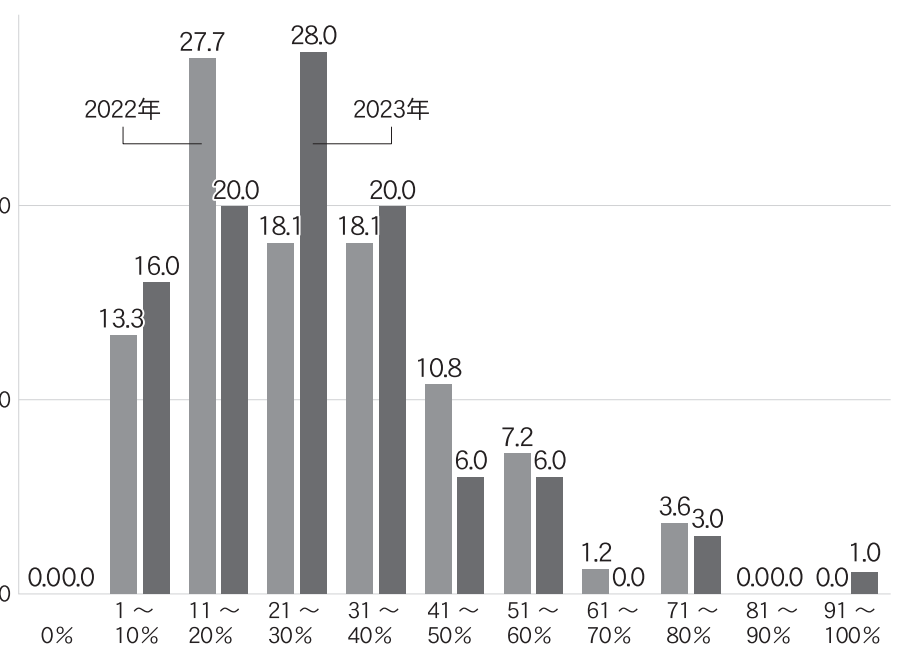
旅行会社経由



OTA経由



直販



「100年も先のことは、わからない」
 なんて言うのはやめよう。
 そう決めました。

サントリー
天然水の森
 PROJECT.

サントリーの天然水は、森に降った雨が、
 およそ20年かけて
 森の大地でゆっくり濾過され、
 ミネラル分を授かって
 おいしくなった地下水。
 健やかな森の力を借りて生まれます。
 天然水を未来につなぐために、
 森を元気にする。
 それが私たちの大事な仕事になりました。
 これからも、ずっとずっと
 水と生きていけますように。

水と生きる **SUNTORY**

天然水の森 検索